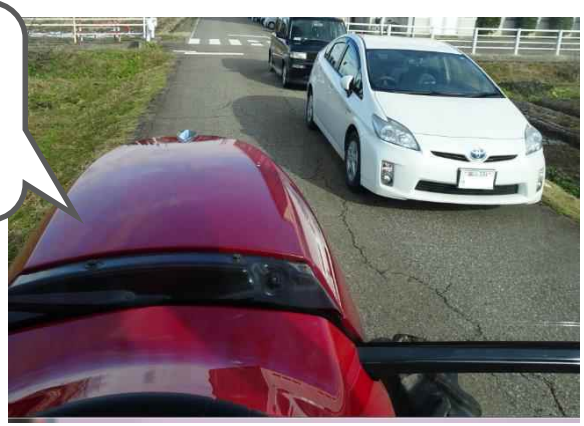
１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ P.17

順序①　リスクの**危険・有害性**を**特定**

例: 農道で対向車とすれ違う場合、どのような危険があるのか?

★路肩に寄せた際に、トラクターが水田に横転する



順序② リスクから**危害の程度**を**見積る**

★農道の幅はすれ違えるだけ広いか?

★路肩の強度はあるか? 草があるが、縁は見えるか?

☆自身の車速はどうか? 停止・微速・走行10km/h

★対向車の動きは? 停止・減速・走行40km/h

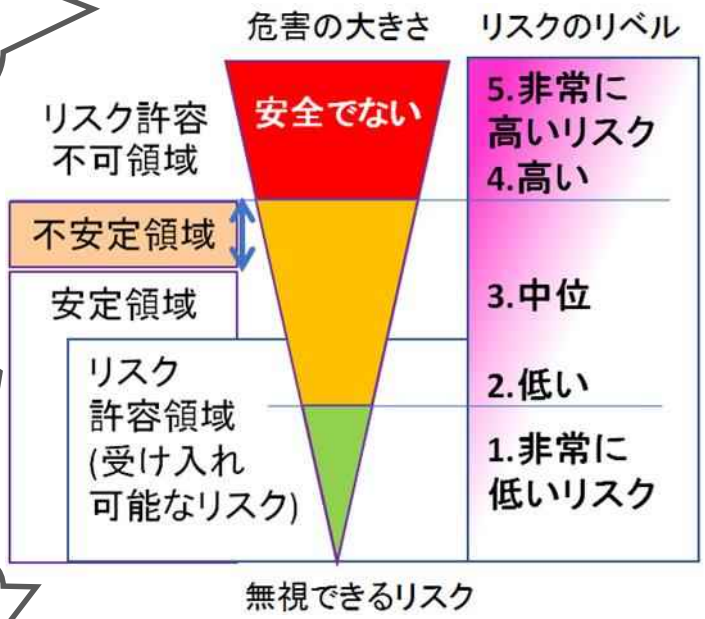
順序③ リスク毎の危害の程度から低減実施の**優先度**を設定し、**低減措置**を**検討**

例: ★ (あれば)遠廻りでも道幅が広い道路を選択する

★ 車の通行が少ない時間帯を選ぶ

★退避の空き地(進入路)ある

★対向車が進路を変えない場合、停止して待つ



順序④　**リスク低減措置を実施**

例: (トラクター)停車して待つ、シートベルトを着用する

ALARP（As Low As Reasonably Practicable：合理的に実行可能な範囲）

１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.18

建設・製造・化学・農林業・他の作業安全

法令に定められた事項の確実な実施

高 対策優先順位 低い

① **危険な作業の廃止・変更**
より危険有害性の低い材料への代替え等

⇩

②離す
③覆う
④止める
工学的対策(隔離・停止の原則)

⇩

⑤教育
⑥管理
管理的対策
（ルール=マニュアル、立ち入り禁止措置、教育、訓練、暴露管理等）注意

⇩

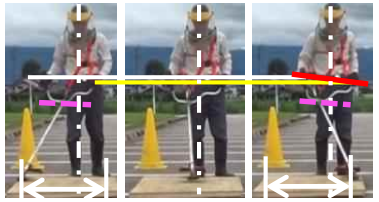
⑦ **個人用保護具の使用**
（安易に保護具に頼らない、他の対策と併用）

注意　暴露: 農薬を浴びる濃度と時間を表すので、暴露(ばくろ)を使用して欲しい (被曝・被爆は使用しない)

あぜ草刈の例は、
①刈払機からあぜ草刈り機に変更する

②肩掛けベルトを使用し、チップソーから離す
③飛散防止カバーで覆う
④衝撃を検知すると回転が止まる

⑤注意銘板と取説の記載
⑥刈払作業の手順と講習会、草刈作業中の表示やカラーコーンでバリケードする



⑦保護具の使用

１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.18

この考え方の根拠は、ＪＩＳＢ９７００:2013機械類の安全です

① 本質的な安全は、機械で危害(怪我病気)を受けないこと

- 死亡や重症に至る**力**や**速さ**が無い(弱く、遅く)
- 可動部の**重量**を軽くする
- **電圧**や水油空圧等の**圧力**を低くする
- 高さを低くする

⑧ メーカーが行う付加保護方策の内容

- 危険を感じた際に人の操作による停止装置(非常停止釦他)や、人が安全に作業する為の補助的な装置・設備(手すりや踏み台他)を追加する

⑨ 追加の保護は、使用者が実施

- 機械・設備を操作・使用する作業者の体格に合わせて装置・設備を追加する
- 警告表示やバリケードは、作業者が危険に近づかない様に予め対応するもの

作業者が不安全に至らない為の監視人は、⑤組織的管理になる

１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.20

指差し呼称　(本来は大きな声で行いますが、コロナ対策により小声で実施)　2022年現在

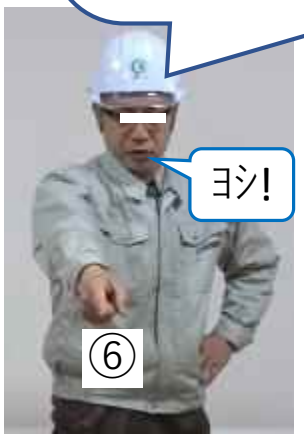
行動前に 操作する箇所・モノ・方向か?、行動後に 行動の確認と記憶
会場で、指差し呼称の練習を行なってみましょう

指差し呼称は最初に、対象物スクリーンを見ます

①左手を腰に当て、対象物を
②右手で指差し

③「スクリーンに画像全体が映っている」を見て確認し、
④右手を耳元まで振り上げます

⑤確認項目「スクリーン画像表示」を唱え、耳で聞き、良いか考えて
(３つ同時にすることで効果ある)
⑥対象物に向かい「ヨシ!」発声と右腕を振り下ろす



１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.21

危険予知は作業の中に潜む危険を発見し、
その場で危害の回避を行うものであり、
経験を重ねると早期に危険性を発見できる

ⓐ作業名・内容＋ⓑ危険源＋ⓒ人の動き＋ⓓ事故の型
～なので　～して　～になる、する

GAPに取り組んでいる団体は専用の洗車場所を設けており、水路への転落の可能性は少ない

例1:トラクタからの降車

1. 前記の項目にキーワードを当てはめます
   ⓐ洗車 ＋ⓑ草・用水 ＋ ⓒ降車した ＋ⓓ転落した
2. 集めたキーワードから文章を作ります
   ⓐ洗車の為、用水横に止め ⓑ草で ⓒ降車した時に足を滑らせて ⓓ用水に転落する
3. 内容が分り、説明を加えて読み易く整えます
   洗車の為に、水路横にトラクタを止めて降車した際、草で長靴が滑り、用水へ転落する

１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.21

危険予知、不安全とは

○ 経験のない人は、不安全が何か分からず行動

→ 良い状態を経験していれば不安全が分かり、不安全に対して自制が働く

→ 経験の少なさは危険予知訓練で補完

○ 「良くない、危険」と理解していても、①効率性を選択したり、②追い詰められて実行してしまうのが人の心理であり、危険予知で不安全に気付き、危険を回避することが重要

NG1. 最初は慎重に実行し、上手くいった経験から油断し、効率(早く済む)と安全(面倒な手順他)を天秤に掛け効率性を選択

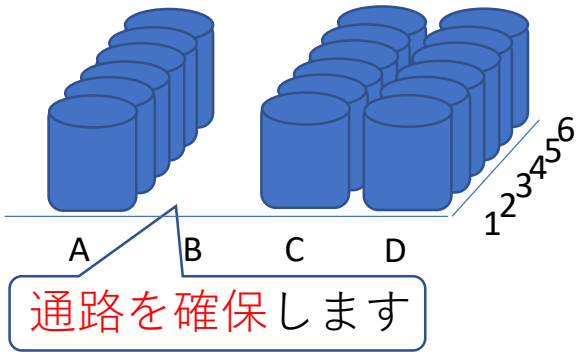
NG2. 緊急や異常な時に、周囲の状況に押され、また義務感に駆られ、危険を理解していながら不安全行動に至る

１ 労働安全の基本的な考え方

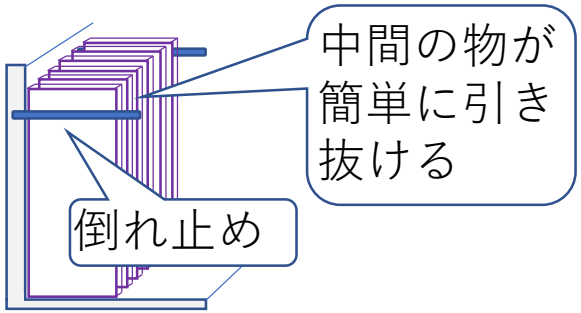
テキストページ
P.22～P.23

５Ｓ（整頓・整理・清掃・清潔・躾）各自の経験から良い事例を教示する

床に平置き



立掛け



棚の部品

棚から溢れた部品は、落下や混りの原因になる。棚を増やすか、使わない物は廃棄（整理）する。
この部品棚の奥の下の物は使われる可能性が有るか?

床は明るい色で塗装

作業場の床を、滑り難く明るい色の塗装とし、汚れが目立つようにします。
例: 食品加工所の白塗装

１ 労働安全の基本的な考え方

テキストページ
P.２３

- 工具を集め、分類して整頓
- 同じものが複数ある場合、使用しないものは整理
- 通路と作業エリアは区別
- 物を置く時は、壁や通路に対して直角並行に並べる
- 立て掛けた物は倒れ易いので、倒れ止めを設置
  (基本は、寝かせて置く)
- 柱や床に番号を振り、番地管理

清掃して清潔になる

捨てに行く時に、
積んだゴミの落下で、
後に掃除が必要となるので、
容積を越えない

３割増し

１０割

容積の
８割で
空に
する

例外
袋に入れ封をした、軽い梱包材

ゴミは、
8割溜まったら
捨て、空にする